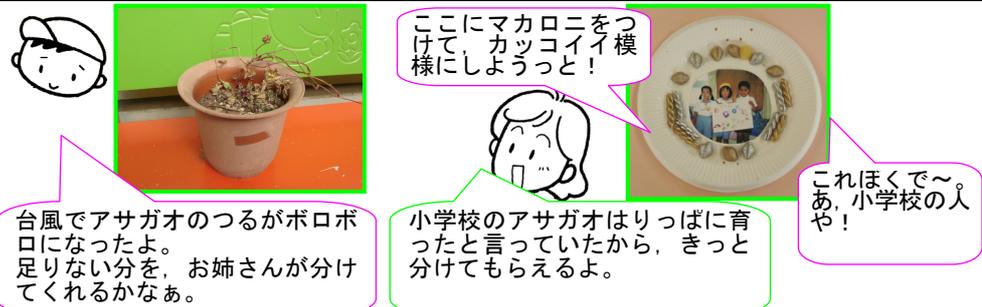
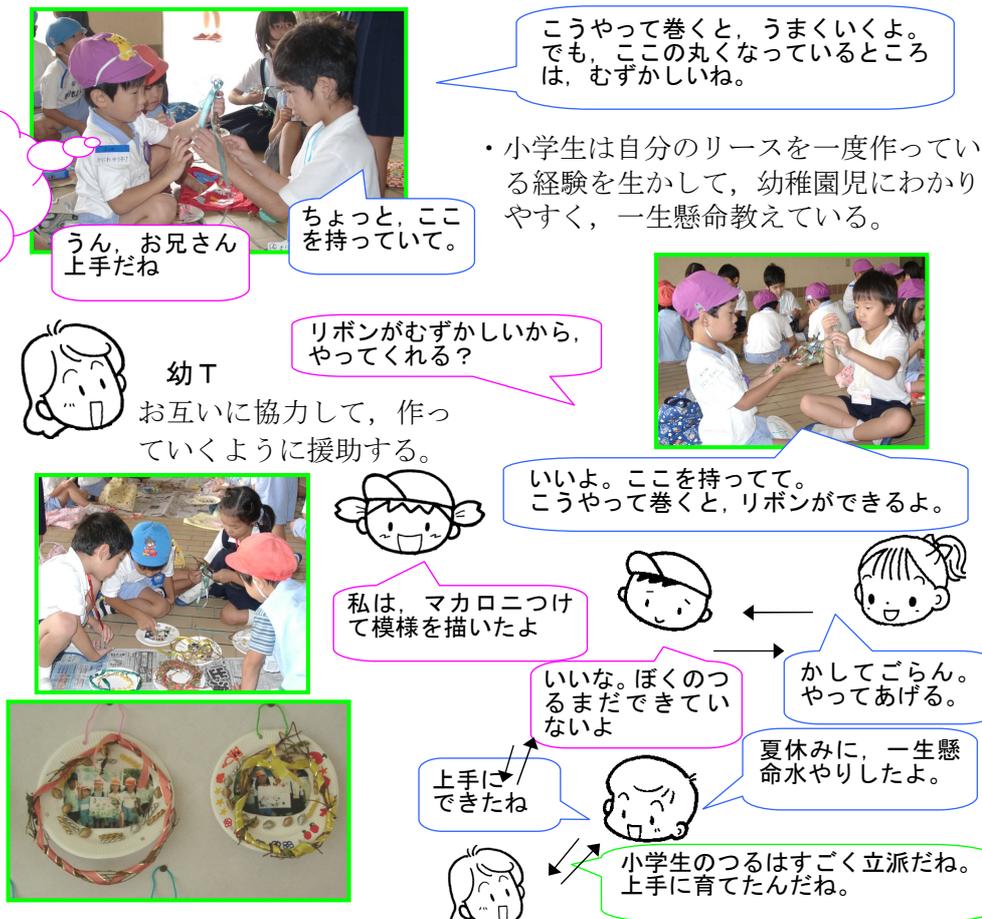


あさがお だいすき (小学生とリース作り)
学校法人 やしま幼稚園 (香川県高松市)

日時	平成 16 年 9 月	参加者	やしま幼稚園 5 歳児 108 名 担任 4 名 TT1 名
場所	屋島西小学校		屋島西小学校 1 年生 100 名 担任 4 名

活動の流れ	活動の様子
<p>1. 小学生にお手紙を書く。</p> <p>2. 皿に写真を貼り、マカロニを飾り付ける。</p>	 <p>ここにマカロニをつけて、カッコイイ模様にしよっと!</p> <p>台風でアサガオのつるがボロボロになったよ。足りない分を、お姉さんが分けてくれるかなあ。</p> <p>小学校のアサガオはりっぱに育ったと言っていたから、きっと分けてもらえるよ。</p> <p>これほくで〜。あ、小学校の人や!</p>
<p>1. 小学生と一緒にアサガオの茎を巻いてリースにする。</p> <p>2. リースにリボン巻いていく。</p> <p>3. 紙皿にリースをつける。</p> <p>4. マジックで模様を描く。</p> <p>5. グループで見せ合う。</p>	 <p>こうやって巻くと、うまいくよ。でも、この丸くなっているところは、むずかしいね。</p> <p>お兄さんってすごいなあ! 何でもできるんだ!</p> <p>うん、お兄さん上手だね</p> <p>ちょっと、ここを持っていて。</p> <p>リボンがむずかしいから、やってくれる?</p> <p>幼T お互いに協力して、作っていくように援助する。</p> <p>いいよ。ここを持って。こうやって巻くと、リボンができるよ。</p> <p>私は、マカロニつけて模様を描いたよ</p> <p>かしてごらん。やってあげる。</p> <p>夏休みに、一生懸命水やりしたよ。</p> <p>小学生のつるはすごく立派だね。上手に育てたんだね。</p> <p>上手にできたね</p> <p>いいな。ぼくのつるまだできていないよ</p>

【 考 察 】

いろいろな大きさのリースができたが幼稚園児はとても喜んでいた。アサガオの一生を種から茎までの活動を通して、アサガオに対する愛着心があったようだ。幼稚園児のアサガオのつるが大きく成長していなかったことや、台風被害があり心配していたが、小学生や異年齢のお友だちの協力もあり、リース作りができた。

みどころ

小学 1 年生と 5 歳児という 1 年の年齢差でも、小学校での経験を生かして見通しを持ってできる活動であり、小学生のアサガオの方が大きく成長をしていたことで、自然に小学生がリードしながら一緒に作業を進めることができました。一緒にリース作りをしながら、タイミングよく作り方を示して教えたり、助け合い協力して進められるようにリードしたりする小学生のかかわりは、園での年長児としてのかかわりのモデルにもなります。また、関係が薄い相手でも安心して一緒に活動を進めることにつながっているため、感じたり気付いたりしたことを話し、工夫して作ろうとする意欲や態度も、引き出されたと思われまます。